

千葉県生協連活動報告



成年年齢引き下げに関する公開講座 VOL.3

「知っていますか？18歳成年で変わったことと、若者が陥りやすい消費者被害～マルチ商法を例に～」を開催しました！

2022年11月7日(月)に、成年年齢引き下げに関する公開講座VOL.3「知っていますか？18歳成年で変わったことと、若者が陥りやすい消費者被害～マルチ商法を例に～」を千葉市消費生活センターにおいて開催しました。

今回は、2022年4月の成年年齢の引き下げに伴い18歳、19歳の契約に関する消費者被害の増加が予想される中、最近増加しているマルチ商法被害を題材に、若者の周りにいる大人たちの支援について、参加者と考えることを目的に開催し

ました。講師には、神戸女子大学心理学教授 秋山学先生、(公財)消費者教育支援センター主任研究員 庄司佳子先生のお二人をお招きし、被害にあいやすい若者の心理的特徴などの観点からテーマを深めていただきました。



東邦大学消費生活協同組合
有吉直樹専務理事

開催にあたり、共催団体を代表して東邦大学消費生活協の有吉専務から開会挨拶をいただきました。

◆プロローグ： 講師：庄司佳子先生

初めに、十八歳成年で変わったことと若者の消費者被害について説明されました。「実は法律上の成年年齢を18歳とする国はとて多く、日本もやっと加わりました。18歳成年で何ができるかと言うと、10年有効のパスポート取得、結婚、それからクレジットカードを持つこと、性別の取扱いの変更、国籍の選択又は雇用契約を結ぶとか交通事故などの示談もできるようになります。ただし、飲酒をするとか喫煙をすって言うのは20歳からです。そしてこの18歳成年年齢で何が一番心配されているかというと、未成年者取消権、『未成年者なので親の同意を得ていませんからこの契約は無効ですね』ということが18歳になった瞬間から利用できなくなることです。極端な言い方をすると高校3年生の時にクレジットカードを作ることもできるし、そのクレジットカードを使って契約もでき、ローンも組めます。つまり、年齢を理由とした契約の取り消しができない子の権利と責任がセットになる、ということです。これが多分今一番日本中の親たちが、また大人たちが心配していることです。」



主催・共催

千葉県生協連、千葉市、千葉県高等学校PTA連合会、千葉大学生協同組合、東邦大学消費生活協同組合、千葉商科大学生活協同組合、千葉県学校生活協同組合、適格消費者団体 特定非営利活動法人消費者市民サポートちば

後援

千葉県高等学校長協会、淑徳大学、令和4年度千葉県消費者団体ネットワーク強化・活性化



(公財)消費者教育支援センター
主任研究員 庄司佳子先生

◆第1部 講師：秋山学先生 「マルチ商法にはまる若者の心理」

最近若者に多いマルチ商法の被害事例を説明されました。なぜ若者は被害にあうのか…という問いかけの後、秋山先生は「誰でもみんな、だまされます！」と話されました。ぼやけた曖昧な写真を見ながら「普段はぼんやりと考えながら直感的に判断しています。事前にどのような写真がぼかしてあるのかを知っていたら、ぼけた写真でも被写体が何かを正しく答えることができる。後で見落としたところを言っても、後知恵バイアスになるだけ。詐欺のような稀な出来事に注意を払うのは難しい」と話されました。そして「今の若者は、大人に移行する期間が長くなっている。お金や時間を自分の裁量で自由に使えるようになったときに、良い意味でちょっと失敗したり試行錯誤したりする場をどう作るか、また大人がサポートする状況をどう作るかが課題」と問題提起されました。



神戸女子大学 秋山学先生

◆第2部 講師：庄司先生 オブザーバー：秋山先生

後半は、講師二人の対話からはじまりました。秋山先生が「最近の若者は、周りの目に気にする大学生が多い。失敗しないようにと先生や友人の顔色をうかがっている」と話されると、庄司先生は「教育指導要領では、被害にあわないように消費者被害について教えている。しかし、これからは IN PUT だけでなく OUT PUT。まわりに話したり一緒に考えたりすることが重要。例えば、成年になったことをポジティブにとらえている高校生は家庭での会話も多い。『なんでだまされちゃったのかなあ』と失敗を家族で話せるような環境がよいのでは。また幼いころから自分の意思でお小遣いや時間の使い方を考えさせるような事が大切なのは。小さな失敗を重ねる場にもなり、ひいては大きな失敗（マルチ商法など）を防ぐことになると思います。」と説明されました。



千葉市消費生活センター
尾崎香織 所長補佐

閉会にあたり、千葉市消費生活センター 尾崎香織所長補佐から「消費者被害は一刻も早い相談が大切。コミュニケーションが取りにくいなどといった若者の気持ちに寄り添い、センターへ相談するよう背中を押していただければと思います。」とアドバイスをいただきました。

2. 参加者の感想

- ・家族団らんではなく「子どもの話を聞く。子どもに話をさせるのが大切」は、肝に命じたいと思いました。また、秋山先生からお話のありました、これからの消費の行き先に関するお話、とても勉強になりました。社会の動向、法整備なども、注意深く情報を得たいと思いました。
- ・自らの自由裁量行動（時間・金銭）を決定し、重篤な損失無く学べる場は素晴らしいことだと思いました。
- ・「みんな、だまされる」を出発点には、とても良い言葉だと思いました。失敗した人を追い詰めるのではなく、まずは相談できる状態に、その次は失敗しないように経験を活かせられたら良いと思いました。

以上